

(様式6-3)

研修等 報告書

令和4年8月15日

三田市議会議長 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	日本維新の会三田	代表者	
		議員名	林 政徳
参加者氏名	林 政徳		
講演会等研修名	総務省新ガイドラインは自治体病院をどのように変えるか ～わが病院の経営改善に必要なコツを伝授～		
研修事項	・公立病院経営強化ガイドラインと自治体病院経営 ・あなたの地域の自治体病院の経営を診断する2022年版		
日 時	令和4年8月9日(火曜日)～8月10日(水曜日)		
場 所	福岡県博多市博多駅東1丁目16-14リファレンス駅東ビル		
所 見 (別紙でも可)	公立病院経営強化プランと自治体病院経営の研修では、立地やコロナ対策、資金繰り等を考慮しながら総務省では「改革」から「経営強化」に名称を変更した。それによってコロナ禍までとその後によって自治体病院の存在とあり方の認識が変わったことは事実である。その自治体の特性に自治体病院の運営を考えなくてはならない。各地方自治体が策定する経営強化プランは2022年度または2023年度に策定されプランの期間は2027年を標準としている。三田市においても策定するが、急性期を守り、市民の命を大切にすることには変わりはない。講師のお話で印象的な内容は、民間病院での取り組みには限界がある。そして自治体の役割の中に急性期医療と新興感染対策、周産期母子医療、小児医療等が大きな役割で神戸市北区での医療に対する自治体の役割を果たしていない神戸市、また西宮市北部も同様、今回の再編統合に対してそれぞれの自治体が真剣に向き合って協力すべきであるという意見。激しく賛同した。これからも三田市政に学んだ内容を反映させていきたいと考える。		
添付資料	・テキスト2冊 ・メモ2枚 ・領収証 ・写真		

添付書類(講演会内容のパンフレット等)

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入の上、押印してください。

個人支給の場合、会派名(無会派は記入不要)、議員名を記入してください。

公立病院経営強化プランと 自治体病院経営

城西大学経営学部

教授 伊関友伸

経歴

- ・ 1987年埼玉県庁入庁
- ・ 県民部県民総務課、川越土木事務所管理課、出納局出納総務課、総合政策部計画調整課、健康福祉部県立病院課、社会福祉課、県立精神保健総合センターに勤務
- ・ 1995～6年度大和町企画財政課長(県派遣)
- ・ 2004年4月から城西大学経営学部助教授
- ・ 総務省「公立病院に関する財政措置のあり方等検討会委員」(2008年度)
- ・ 内閣府「公立病院改革の経済・財政効果に関する研究会委員」(2015年度)
- ・ 総務省「地域医療の確保と公立病院改革の推進に関する調査研究会委員」(2016年度)
- ・ 総務省「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化に関する検討会委員」(2021年度)
- ・ 研究テーマ: 行政学(行政評価、公的組織の変革、地域医療問題、自治体病院の経営変革)
- ・ 博士(福祉経営: 日本福祉大学から授与)

あなたの地域の自治体病院の 経営を診断する2022年版

城西大学経営学部

教授 伊関友伸

経歴

- 1987年埼玉県庁入庁
- 県民部県民総務課、川越土木事務所管理課、出納局出納総務課、総合政策部計画調整課、健康福祉部県立病院課、社会福祉課、県立精神保健総合センターに勤務
- 1995～6年度大和町企画財政課長(県派遣)
- 2004年4月から城西大学経営学部助教授
- 総務省「公立病院に関する財政措置のあり方等検討会委員」(2008年度)
- 内閣府「公立病院改革の経済・財政効果に関する研究会委員」(2015年度)
- 総務省「地域医療の確保と公立病院改革の推進に関する調査研究会委員」(2016年度)
- 総務省「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化に関する検討会委員」(2021年度)
- 研究テーマ:行政学(行政評価、公的組織の変革、地域医療問題、自治体病院の経営変革)
- 博士(福祉経営:日本福祉大学から授与)